

「思いやり・やる気・元気」は、向町小学校の校訓です

できっこないをやらなくちゃ

～ 一致団結！心を一つに勝利へ～

運動会

座談会

5月23日(土)に、向町小学校大運動会を行いました。肌寒い天候ではありましたが、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にお越しいただきました。本当にありがとうございました。運動会当日はもちろん、それまでの練習でも、6年生を中心に赤組、白組どちらも、優勝を目指してがんばることができました。

そこで、今回は、中心的な役割を果たした6年生3人に、給食をいただきながら座談会形式で運動会を振り返ってもらいました。

<参加者>

実行委員長 6年
阿部 ましろ

赤組 組頭 6年
福井 湊人

白組 組頭 6年
岸 燈志

聞き手：校長 藤田

が出せました。
湊人 正直、悔
しかったです。
でも、結果は結
果なのでしっか
りと受け止めよ
うと思いまし

た。今は気持ちを切り替えて、次の行事に向けてがんばろうという前向きな気持ちです。来年の後輩たちには、ぜひリベンジして勝ってほしいです。

藤田 実行委員長として全体をまとめたましろさんはどうですか？

ましろ 6年間で初めての経験でしたが、よい運動会になったと思います。準備から当日まで大変でしたが、実行委員のみんなが諦めず



にがんばってくれました。

運動会を終えての感想

藤田 運動会ご苦労様でした。まずは、優勝した白組の燈志さんから、今の気持ちを聞かせてください。

燈志 練習中は負けそうで不安でした。応援歌の振り付けがなかなか覚えられず、声が出ていない時期があったからです。でも、みんながどんどん声を出すようになり、本番は練習以上の力

準備と練習の工夫

藤田 なぜ白組が優勝できたと思いますか？

燈志 本番は、みんなが本気を出せたことと、振り付けもしっかり覚えていたからだと思います。練習の段階では、白組の方が進みが遅く焦っていました。

湊人 赤組は学年ごとに分かれてダンスの練習をしたり、応援練習を繰り返したりして、分かりやすく教え

【次項】

【つづき】

る工夫をしました。最初は白組と進み具合に差があったかもしれませんが。

燈志 白組は最初、とにかく「声を出させる」という感じだったんです。でも、それだけでは応援賞は取れないと気づき、途中から振り付けの練習に力を入れました。

藤田 阿部さんは赤組のメンバーでしたが、結果を聞いた時はどうでしたか？

ましろ 悔しさよりも、みんな

ながら本気で取り組んでくれたことへの満足感や達成感の方が大きかったです。

下級生へのメッセージ

藤田 最後に、来年の運動会に向けて、下級生へメッセージをお願いします。

燈志 最初はダメだと思っても、諦めずに練習を続けてください。応援賞もリレーも総取りして優勝してほしいです。

湊人 悩むときもあると思うけれど、気持ちで負けずに練習を続けてください。応援賞もリレーもすべての賞を取るという強い気持ちで挑んでほしいです。

ましろ 6年生になると初めての経験も多いと思いますが、諦めずにがんばって取り組んでほしいと思います。

藤田 今日は、みなさんからリーダーらしい素敵な話を聞くことができました。ありがとうございました。

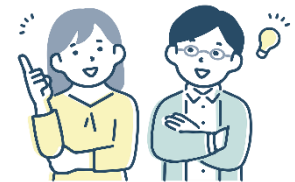
第1回 学校運営協議会

学校・地域住民・保護者が学校運営の基本方針の承認や様々な課題の共有を図り、学校運営に必要な支援等を協議する場

5月26日（火）に、学校運営協議会が、向町小を会場に行われました。今年度より、大堀小・最上中と合同での開催となりました。委員の皆様にご子どもたちの授業の様子を参観いただいた後、学校運営について協議をしました。

<話題になったこと>

- ◆ どの学級も、楽しそうに授業に取り組んでいた。
- ◆ 落ち着いて学習に向かう姿が見られ、安心した。
- ◆ 子どもたちには、地域の人との交流を通して、町のよさを深く追究してほしい。
- ◆ SNSやメディアの危険性について、大人が学びを深め、どのように子どもを見守るべきか考えていく必要がある。



山形県公立学校における

働き方改革プラン 第Ⅲ期

「働きやすさ」と「働きがい」

令和元年に策定された「働き方改革プラン」は第Ⅲ期を迎えました。キーワードは「働きやすさ」と「働きがい」です。保護者や地域の皆様のご理解もあり、昨年度まで、本校教員の勤務時間は着実に改善しています。ありがとうございます。

本プランの目標は、教員の心身の健康と専門性を維持・向上させ、質の高い教育活動の実現です。心にゆとりを持って子ども一人一人と丁寧に向き合う「働きやすさ」、子どもの成長に貢献する喜びを感じ、教員自身も学び続けて専門性を発揮する「働きがい」の醸成に努めてまいります。教員の笑顔と活気は、豊かな教育の原点です。子どもたちにとってよりよい環境を実現してまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願いします。